

# 平成30年度 事業報告

社会福祉法人 ゆめさき会

## — 平成30年度 総括 —

重点課題 1	本館、グループホーム、林田事業所における利用者の安全に配慮した住環境整備、社会貢献活動の推進
評価	利用者が安全かつ穏やかに過ごせるよう人的配置に配慮するため人材確保に努めたが難しかった。次年度以降も継続して人材確保に努めて行く。

重点課題 2	利用者の夜間支援の充実を図るため、強度行動障害支援者研修受講への取り組み
評価	強度行動障害支援者研修に支援員3名が受講申込を行ったが、定員等の制約があり受講許可が下りなかった。 次年度以降への課題とした。

重点課題 3	利用者の安全・安心に配慮した防犯体制強化への取り組み
評価	社会福祉施設への不審者侵入に対する施設整備の一環として、敷地周辺のフェンス設置場所を拡大する事業については、財団法人助成金事業を申請し計画したが助成金が不支給となり実施できなかった。

# 障害者支援施設 ゆめさきの家

## I 利用者の状況（平成31年3月31日現在）

### 1 定員（施設入所支援 30名 生活介護 33名）

現員 施設入所支援 29名（男 19名、女 10名） 生活介護 29名（男 19名、女 10名）

### 2 実施機関（左欄は施設入所支援 右欄は生活介護）

実施機関	利用者数		実施機関	利用者数		実施機関	利用者数	
姫路市	16	16	加古川市	1	1	西脇市	1	1
明石市	2	2	朝来市	2	2	高砂市	1	1
西宮市	2	2	宝塚市	1	1	神河町	1	1
						合計	29	29

### 3 年齢（左欄は施設入所支援 右欄は生活介護）

年齢 性別	20~ 29歳		30~ 39歳		40~ 49歳		50~ 59歳		60~ 69歳		70~ 79歳		合計		施設入所利用者 最年少 27歳 最年長 76歳 平均年齢 51歳	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
男	1	1	0	0	13	13	1	1	4	4	0	0	19	19		
女	0	0	0	0	2	2	3	3	1	1	4	4	10	10		
計	1	1	0	0	15	15	4	4	5	5	4	4	29	29		

### 4 障害の程度（上段は施設入所支援 下段は生活介護）

【障害の程度（療育手帳）】

程度	軽度	中度	重度	計
男	1	2	16	19
女	1	5	4	10
計	2	6	21	29

【障害支援区分】

区分	2	3	4	5	6	計	平均 区分 5
男	0	2	3	6	8	19	
女	0	1	2	4	3	10	
計	0	3	5	10	11	29	

### 5 入退所状況（上段は施設入所支援 下段は生活介護）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入所	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在籍人員	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29

## II 支援の状況

利用者のニーズに即した個別支援計画を策定し、支援を実施した。

### 1 生活支援

- (1) 共同生活の利点を活かしつつ、居宅に近い環境の中で基本的な生活能力の向上を図った。
- (2) 外出支援やフリープランなどを通じて地域資源を有効に活用し、社会経済活動への参加促進を行った。
- (3) 多様な活動内容を設定し、個別ニーズに対応した幅広い支援を行った。
- (4) 職種間で連携し、利用者の健康維持・増進のために必要な支援を行った。
- (5) 障害の特性に応じた環境整備や必要な人的サポートを実施し、日々の生活が円滑に送れるよう支援を行った。
- (6) 適度な運動の機会やバランスのとれた食事を提供し、利用者の健康増進、疾病予防に努めた。
- (7) 利用者の理解度や障害特性に応じたコミュニケーション方法を充実させ、日々の生活場面で円滑な意思疎通が行なえるよう努めた。
- (8) 福祉用具や健康器具を適宜導入し、加齢、疾病等による利用者の日常生活能力低下防止や事故予防に努めた。

#### 《生活の流れ》

7:00	起床・洗面	15:30	衣類・居室整理
8:00	朝食・歯磨き	16:00	フリータイム
9:00	清掃	18:00	夕食・歯磨き
10:00	作業	15:30	入浴
12:00	昼食・歯磨き	~20:00	
13:30	作業	21:30	消灯 就寝
15:00	コーヒータイム	~23:00	
水・金 午後 余暇活動 クラブ活動      水 午前 スヌーズレン 土 午前 施設内外の清掃等      午後 クラブ活動 余暇活動 日・祝日 午後 余暇活動 ◇その他 適宜買物、美容、投票行動、喫茶利用への支援を実施した			

#### 《行事等》

月	行事名	行き先・内容
4	フリープラン	赤穂 プラットシネマ (映画)
	フリープラン	福崎 まねきねこ (カラオケ)
	フリープラン	姫路 セントラルパーク (観光)
5	フリープラン	神河 グリーンエコー笠形 (バーベキュー)
	のじぎくまつり大会	三木 総合運動公園 (フライングディスク競技参加)
6	フリープラン	加西 フラワーセンター (観光)
7	フリープラン	福崎 まねきねこ (カラオケ)
	フリープラン	小野 ひまわりの丘公園 (観光)

8	フリープラン	福崎 まねきねこ（カラオケ）
9	フリープラン	姫路 せとろしかづ（観光）
10	フリープラン	出石 周遊（観光）
	フリープラン	三木 ヤクルト工場（社会見学）
11	フリープラン	穴粟 最上山公園（観光）①
	フリープラン	穴粟 最上山公園（観光）②
12	フリープラン	姫路 中華料理てんじく（食事）①
	フリープラン	姫路 中華料理桂林（食事）②
1	フリープラン	御津 櫓（食事）①
	フリープラン	御津 櫓（食事）②
2	フリープラン	日生 美晴（食事）
	フリープラン	三木 ヤクルト工場（社会見学）
	フリープラン	御津 潮里（食事）
3	フリープラン	大阪 大相撲春場所（相撲観戦）
	フリープラン	姫路 青山スポーツガーデン（ボーリング）
	フリープラン	加西 いこいの村はりま（食事）
	フリープラン	龍野 公園散策（観光）

※保護者会行事

- 11月 親子の集い（日帰り旅行） 楓香荘  
3月 食事会（於 交流ホーム）

2 作業支援

- (1) 多様な作業種目の提供や一人ひとりに即した作業環境を整えることを通じて、作業意欲の向上及び達成感が得られるよう支援した。
- (2) 生活の場と作業の場を明確に分け、日常生活に変化とリズムが得られるように支援した。
- (3) 作業手順の見直しや作業環境の整備、従事利用者の意欲向上を図り、よりよい製品作りに努めた。
- (4) 販売活動を活性化させ、作業の充実感、達成感が得られるよう努めた。

作業班	利用者数	作業内容	備考
よもぎ班	10名	◆浴用よもぎ湯の製造・販売 ◆さき織りマットの製造	
リサイクル班	8名	◆回収した空き缶、ペットボトルの分別・プレス作業 (処理後、資源としてリサイクル業者へ納入)	
あざみ班	4名	◆さき織りマット・すだれ・土鈴の作製・販売	
洗濯班	2名	◆施設利用者の衣類等の洗濯、乾燥及び仕分け作業、及び各手洗い場の洗剤の補充業務	
チャレンジ班	6名	◆さき織りマットに使用する布の裁断、布裂き ◆布貼り絵に使用する布の布切り ◆陶芸品の製作	

清掃班	2名	◆月～金にかけて、トイレ①②及びA、Bフロアトイレ、A、B、Cフロア風呂場等の清掃を行ない、施設内美化に努めた。	
企業内作業班	1名	◆毎週木曜日、白浜町にある税理士事務所に単独で出勤し、事務所内において、不要書類のシュレッダー通し業務を行う。	通勤ルート習得の為に付き添い支援を行い、単独で通勤できるようになった。

《作業収入》

作業班	平成 29 年度	平成 30 年度	作業班	平成 29 年度	平成 30 年度
よもぎ班	805,073 円	1,078,676 円	リサイクル	94,093 円	53,208 円
あざみ班	140,412 円	28,608 円	施設外作業	101,100 円	61,200 円
チャリティ班	283,922 円	112,258 円			
合計				1,424,600 円	1,333,950 円

《アート展、バザーの実施状況と売上》

活動場所	しそう森のバザール、姫路保育専門学校、夢前文化交流発表会など
活動内容	◇知的障害者の社会参加及び施設製品を展示販売し市民への啓発活動の推進。
実績	◇アート展の開催や委託販売を依頼し、ゆめさきの家での作業・活動を知って貰う事ができた。 ◇しそう森のバザール等での販売活動に利用者が参加するなど社会参加が図れた。

開催月	名称・場所	売上	開催月	名称・場所	売上
4月	かじかの里（不参加）		11月	夢前文化交流発表会（不参加）	
5月	しそうの森バザール	9,600 円	3月	あざみの里ひろば	6,500 円
6月	姫路保育専門学校学園祭（不参加）		合計		16,100 円

### 3 余暇活動支援

興味、関心のある活動への参加を促進することにより、日々の生活の充実感や満足感が高まるよう支援を行なった。

活動班	利用者数	活動内容	備考
生け花	9名	◇毎月第3金曜日 13:30~14:30、中末敏和講師の指導の下、四季折々の花にふれ、生け花を楽しんだ。	
カラオケ	12名	◇余暇活動の一環として女子棟リビングにてカラオケを行ない、歌に合わせて手を叩いたり一緒に歌ったりして、楽しい時間を共有し交流を深めた。	
詩吟	7名	◇第1・2・4金曜日の13:30から14:30まで、ボランティアの国光恵子講師のもと、様々な歌の練習に取り組んだ。	
スヌーズレン	5名	◇毎週水曜日9:30から「光、音、におい、触覚」の素材を組み合わせたスヌーズレンルームを活用し、心地よくゆったりと過ごせる時間を提供した	
楽器クラブ	10名	毎日 17:00~17:30 キーボード等を使用してオリジナル曲の練習を行なった。	
スポーツクラブ	10名	◇毎月第1・4金曜日午後、上菅公民館の体育館を利用し、スポーツ活動を行なった。 (ボッチャ、フライングディスク等)	年度途中で活動休止
料理クラブ	26名	【お菓子作り】 ◇水曜日午後、食堂にて季節の食材を使用したお菓子作りを行った。 ◇参加希望者が26名の為、4班に分け1ヶ月に各1回ずつ実施した。 【昼食作り】 ◇1ヶ月に1回、交流ホーム1Fリビングにて四季折々の食材を使用した料理作りを行った。 ◇4班に分け、それぞれ3か月に一回の割合で実施した。	年度途中で活動休止
図書クラブ	13名	安富図書館まで外出し、図書の借出し、DVD鑑賞を実施した。(散歩中止時の代替活動として実施)	年度途中で活動休止
紙芝居クラブ	11名	毎月2回、ボランティアの有末久美子講師による絵本、紙芝居の読み語り	年度途中で活動中止

《その他》

個別的な余暇等支援として以下のことを行なった。

- 休日外出への支援（姫路駅周辺や山崎方面への外出）
- 投票活動への支援（情報提供、投票会場までの送迎）
- 喫茶店、美容院利用への支援
- 地域の秋祭りやふれあいサロン事業（ふれあい喫茶など）への参加支援

4 保健衛生

健康増進・維持のため、嘱託医・協力医療機関と連携しながら次の事を行った。

- (1) 身体測定 身長測定、腹囲測定を年2回 体重測定を毎月実施した。
- (2) 健康診断 全利用者を対象に年2回実施した。（40歳以上は検査項目増）
- (3) 歯科検診 全利用者を対象に年2回訪問診療にて実施した。  
要治療者については後日治療を行った。
- (4) 血圧測定 40歳以上の利用者については毎月1回の定期測定を行なった。  
また、健康管理上必要な人には適宜測定を行なった。
- (5) インフルエンザの予防接種を利用者全員受け、感染防止に努めた結果、感染者はなかった。
- (6) 3ヶ月に1回（1人当り）の施設内定期内科検診を実施した。
- (7) 肥満対策として、適正なカロリー摂取が行なえるよう支援した。また、適宜、運動の機会を提供した。

《健康状況》

感染症は含まず

健康の状況		男性	女性
元気でこの一年病気らしい病気はない	健康	18名	7名
ときに風邪をひく程度		2名	2名
やや病弱でよく風邪などをひき医師にかかる	病弱	0名	0名
ほとんど病気がちで治療を受けている	疾病	0名	0名

《疾病別通院・服薬人数》

脂質異常症	9名	高尿酸血症	3名	高血圧症	3名	アレルギー症	6名
便秘症	9名	慢性蓄膿症	2名	喘息	1名	神経痛	1名
甲状腺異常	1名	胃腸機能障害	2名	子宮筋腫	1名	精神科治療	13名

《通院状況 のべ人数》

種別 月	内科	外科 整形 外科	精神 神経 科	眼科	耳鼻 咽喉 科	皮膚 科	婦人 科	歯科	泌尿 器科	その 他	計	29 年 度	28 年 度
4月	0	13	6	0	1	0	0	9	1	0	30	16	15
5月	0	18	5	3	0	0	0	4	0	0	30	18	18
6月	3	5	3	1	0	0	0	0	1	0	13	7	22
7月	1	3	5	0	0	0	0	3	3	0	15	15	10
8月	1	0	5	5	0	0	0	5	1	0	17	15	15
9月	1	1	3	1	0	0	0	2	1	0	9	20	24
10月	1	1	5	0	0	0	0	3	0	0	10	14	13
11月	3	0	7	3	0	0	0	8	2	1	24	11	25
12月	5	2	5	0	0	0	0	3	1	0	16	22	22
1月	3	6	4	0	0	0	0	2	1	0	16	11	15
2月	1	4	6	3	0	0	0	0	0	0	14	19	17
3月	2	0	7	4	0	0	0	0	1	0	14	23	22
合計	21	53	61	20	1	0	0	39	12	1	208	191	218
29年度	2	48	57	19	1	0	1	47	15				

定期健診・歯科検診・治療を目的としない検査通院を除く

その他 内訳 循環器

## 5 食事

「栄養バランス」「家庭的」「季節感」「食べる楽しみ」を大切に食事提供に努めた。

- (1) 利用者一人ひとりの健康や身体状況に配慮しつつ、季節感のある献立を提供した。
- (2) 衛生管理を徹底し、安全な食事提供に努めた。
- (3) 利用者個々の好みに配慮した献立の工夫を行った。
- (4) 利用者の嚥下、咀嚼状態に応じた食事提供を行った。(刻み食、ソーランなど)
- (5) 生活習慣病予防のため、献立の工夫を行なった。
- (6) 中播磨給食施設協議会への参画を通じて、非常時における施設間の食事相互支援体制を強化した。
- (7) 年齢、性別、生活状況に応じた食事(主食量、副食量)提供を通じて、適正な栄養を摂取できるよう支援した。
- (8) 利用者それぞれの誕生日に希望のあった献立を全員に提供した。



### Ⅲ 家族との連携

- 1 保護者会活動と連携した行事を実施した。(※は、保護者会主催行事)  
納涼祭り    ※親子の集い(家族との日帰り旅行)    ※春の食事会(カレー)
- 2 保護者会(月例)における情報交換を積極的に行った。  
法人と保護者会との連携について    今後の修繕計画について  
利用者高齢化に伴う課題について    事業の進捗状況について
- 3 保護者会の協力により環境整備を推進した。  
敷地内樹木の剪定、除草    水路上鉄板の塗装など
- 4 広報紙「ゆめさきの家だより」を発行し情報提供に努めた。
- 5 個別支援計画作成過程における業務手順遵守を徹底し、説明と同意について一層の理解が得られるよう努めた。

### Ⅳ 地域との交流及び地域サービス事業

- 1 地域との交流
  - (1) 地域の秋祭りに希望者が参加し、交流を深めた。
  - (2) 地域の方を対象とした陶芸教室を開催し交流を深めた。
  - (3) 地域で開催される「ふれあい喫茶」「きまぐれ喫茶」を定期的に利用し、地域の人たちとの交流を深めた。(参加利用者3名)
- 2 ボランティアとの連携  
余暇活動等にボランティアを積極的に受け入れ、活動の充実化、活性化を図った。
- 3 地域サービス事業
  - (1) 短期入所事業・日中一時支援(日中短期)事業

利用者区分 事業区分	児童利用者数	のべ 利用日数	成人利用者数	のべ 利用日数
短期入所	0名	0日	0名	0日
(下段は昨年度)	0名	0日	4名(男性3・女性1)	640日
日中短期入所	0名	0日	1名(男性1)	22日
(下段は昨年度)	1名(男性)	18日	2名(男性1・女性1)	31日

- (2) 一人暮らし高齢者昼食宅配サービス  
夢前町筋野地区の一人暮らし高齢者1名を対象に毎月1回昼食宅配を実施した。  
併せて生活状況の把握に努めた。

対象者	筋野在住のAさん(81歳)
献立	当日の利用者献立に同じ
配達者	担当職員1名、利用者2名
実施日	毎月第2火曜日

## V 権利擁護への取り組み

### 1 苦情解決制度

利用者から苦情に該当する申し出が2件あった。苦情解決制度に則り問題解決にあたりとともに原因を明らかにし再発防止に努めた。

#### (1) 苦情申し出件数 2件

利用者申し出 2件 職員対応、利用者間トラブルに関して

#### (2) 体制 (責任者) 富田信介 (窓口担当) 松島富樹 山本克也

#### (3) 第三者委員 小林 かおる (当法人監事)

### 2 虐待防止への取り組み

職員会議などを通じて、虐待防止やリスク管理に関する研修を行い、職員個々の権利擁護意識の更なる向上に努めた。

### 3 利用者自治会活動支援 (そよかぜの会)

利用者自治会主催行事 (レクリエーション等) の企画・運営が自主的に行えるよう必要な支援を実施した。また、適宜自治会役員との意見交換の場を設け、利用者の要望を施設運営に反映するよう努めた。

施設行事に合わせたレクリエーション企画 施設長との話し合い 給食会議への参加 (役員)
--

## VI 各種専門実習の受け入れ

実習内容を充実させ、福祉、保育現場を担う人材の育成に取り組んだ。

介護等体験 《1名につき5日間》	
兵庫教育大学、関西福祉大学 神戸医療福祉大学等	0名

市民後見フォローアップ研修 《1名につき1日間》	
姫路市内の市民後見人	0名

## VII 職員の専門性向上

### 1 施設内全体研修 (会議などを通じて)

- ・ 社会福祉関連法律の概要について
- ・ 利用者の権利擁護について (虐待、プライバシー保護など)
- ・ 安全確保・事故防止について
- ・ 障害特性について (行動障害、ダウン症、高齢知的障害など)
- ・ 高齢障害者支援について

### 2 外部研修への参加

関係団体主催の研修会等に参加し、専門性や対人支援スキルの向上、社会福祉の動向把握、障害特性の理解などに努めた。

《研修参加状況》

月	内容	場所	参加職員
4	播磨地区施設長・代表者合同研修会	姫路市	施設長
5	中播磨給食施設協議会総会	福崎	管理栄養士
	姫路市栄養管理研修会	姫路市	管理栄養士
	衛生講習会	姫路市	管理栄養士
6	法人等研修会	姫路市	施設長
7	避難計画に関する研修	姫路市	施設長
	病院栄養士研修会	姫路市	管理栄養士
8	給食ネットワーク部会研修会	福崎	管理栄養士
9	中播磨栄養士研修会	福崎	管理栄養士
	姫路市栄養管理研修会	姫路市	管理栄養士
10	姫路市自立支援協議会研修会	姫路市	サービス管理責任者
	口腔ケア研修会	姫路市	管理栄養士
	中播磨給食施設協議会	姫路市	管理栄養士
11	循環器疾患フォーラム研修会	姫路市	管理栄養士
	中播磨栄養士研修会	福崎	管理栄養士
12	食未来エクステンション講座	姫路市	管理栄養士
1	姫路市栄養管理研修会	姫路市	管理栄養士
	社会福祉法人研修会	姫路市	施設長
2	認知症フォーラム	姫路市	管理栄養士
	介護報酬改定に伴う研修会	神戸市	管理栄養士
	グループホーム研修会	姫路市	生活支援員
3	健康づくり推進委員フォローアップ研修	姫路市	管理栄養士
	障害福祉サービス事業所説明会	姫路市	サービス管理責任者
	救命講習会	ゆめさきの家	職員(8)

( )内は複数参加における人数

## Ⅷ 会議の開催

### 1 職員会議(月1回・全職員)

行事予定の確認や打ち合わせ、事業の進捗状況の確認、障害福祉を取り巻く状況などについて意見交換を行った。

### 2 ケース会議(月1回・全職員 利用者及び身元引受人)

利用者支援方針の決定および支援方法の協議、支援状況の確認などに加え、作業及び生活上の問題提起と対策等を検討した。出席希望のあった利用者及び身元引受人については同席の上、意見交換を実施した。

### 3 給食会議(年4回・全職員)

衛生面や利用者の健康状態に配慮した献立作成に関すること及び嗜好調査・食材の価格に関する

ることを検討した。

#### 4 運営会議（隔月 施設長、副施設長、支援主任、支援副主任）

運営全般に関する課題や方針について協議を行った。

### IX 安全への取り組み

事故の発生またはその再発防止のため、日常生活に潜むリスクの発見や家族との連携のありかたについて検討を行い、次のことを実施した。

1 支援内容、場所の変更にあたっては、定例または臨時のケース会議を開催し、安全面への十分な検証を行うとともに、支援の手順について一層の具体化を図り、利用者の生命、身体の保護に向けた支援を行うことを徹底した。

2 福祉用具等を使用する場合は、事前に職員に対して、安全かつ適正な使用方法や危険防止への配慮などの安全教育を行うとともに、機器使用に当たってのマニュアルを作成し周知を徹底した。

3 リスク管理に努めた。

(1) ヒヤリハット報告を通じリスクの早期発見に努め、必要な対応を実施した。

報告件数 21件 内訳 転倒、発作、服薬など

(2) 発生した事故の背景や原因の考察を行い、改善策を講じることで再発防止に努めた。

事故報告件数 8件

内訳 転倒による負傷 骨折 てんかん等

また、毎月、過去1年間のヒヤリハット・事故の一覧を供覧し、対応が適切に実施できているかどうか確認する機会を設けた。

(3) 業務手順書の整備、職員の研修、家族との関係強化への取り組みを一層推進した。

(4) 利用者の安全に関わる施設内の備品、器具について、定期点検を行い、事故防止に努めた

### X 防災への取り組み

災害や事故の危険から利用者を守るため必要な訓練を実施した。

項目	頻度	備考
避難訓練	月1回	夜間想定訓練年2回
通報訓練	年2回	
総合訓練	年1回	所轄消防署の指導の下実施
安全教育	随時	
炊き出し訓練	12月	かまど、薪を使用し、屋外で非常食の調理を行った。また、貯水タンクや非常用浄水器の使用方法について周知を図った。
救命講習	3月	所轄消防署の署員による講習会を開催。職員10名参加。終了後、全員救命技能を有する旨の認定を受けた。
危険箇所等の安全点検	週1回	
防火設備の点検	年2回	ゾホキに依頼し実施
その他		・自動火災通報システムの整備（火災発生時、消防署へ直接通報） ・3日間以上の非常用食料、飲料水の備蓄

# 生活介護事業所「ぶ・るーむ」

## I 利用者の状況（平成31年3月31日現在）

- 1 定員 生活介護6名  
現員 生活介護3名（男3名）

### 2 実施機関

実施機関	利用者数	実施機関	利用者数	実施機関	利用者数	合計
姫路市	3					3

### 3 年齢

年齢 性別	20～	30～	40～	50～	60～	70～	合計	施設入所利用者 最年少48 最年長54 平均年齢51歳
	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	79歳		
男	0	0	1	2	0	0	3	
女	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	1	2	0	0	3	

### 4 障害の程度

【障害の程度（療育手帳）】

程度 性別	軽度	中度	重度	計
	男	1	2	
女	0	0	0	0
計	1	2	0	3

【障害支援区分】

区分 性別	2	3	4	5	6	計	平均 区分4
	男	0	0	3	0		
女	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	3	0	0	3	

### 5 入退所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在籍人員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

## II 実施事業

### 1 生活介護事業従たる事業所

利用者支援

ア 「個別支援計画」に基づいて、利用者の生活を支援した。

イ 「個別支援計画」はさまざまな課題の解決を目的とし、サービス管理責任者が作成し、個別支援計画会議で確認された後、利用者の同意を頂いた上で実施する。

## 地域社会との共生

- ア 相談支援事業・共同生活援助事業や市町村等の地域の社会資源との連携を図った。
- イ 公益的な取り組みや、地域交流の場となる活動を行なった。
- ウ ボランティア及び見学者の受入れを積極的に行なった。

## Ⅲ 権利擁護の推進及び個人情報の適正な取り扱い

### 1 人権尊重

法人の「倫理綱領」及び「職員行動規範」を遵守し、権利擁護意識の保持を図った。

### 2 虐待防止に向けた取り組み

法人「虐待防止対応規定」に則り、利用者への身体的、精神的及び経済的虐待の防止に努めた。

### 3 個人情報の保護

法人の「個人情報取扱規定」に則り、これを遵守し、個人情報の保護及び漏えい防止に努め、個人の人格的利益の保護を図った。

## Ⅳ 運営管理

### 1 職員健康管理

職員は、健康管理を目的として年2回健康診断を実施した。

### 2 職員研修

職員の支援・援助スキルの向上、充実を図るため、法人施設における職員会議、ケース会議等に参画し、支援計画内容や実践報告において意見交換を積極的に行う。また、各種研修会にも積極的に参加し、専門技術の更なる向上を目指す。

### 3 災害防止・危機管理

- (1) 消防法に則り、避難誘導灯の設置。
- (2) 消防設備維持の為に点検を年2回実施した。
- (3) 地域との防災対応に関する連携をはかった。

# 共同生活援助事業所 「ろはうす」

## I 利用者の状況（平成31年3月31日現在）

1 定員 5名

現員 3名（男性3名）

2 実施機関

実施機関	利用者数	実施機関	利用者数	実施機関	利用者数	合計
姫路市	3					3

3 年齢

年齢 性別	20～	30～	40～	50～	60～	70～	合計	施設入所利用者 最年少48 最年長54 平均年齢51歳
	29歳	39歳	49歳	59歳	69歳	79歳		
男	0	0	1	2	0	0	3	
女	0	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	1	2	0	0	3	

4 障害の程度

【障害の程度（療育手帳）】

【障害支援区分】

程度	軽度	中度	重度	計
性別				
男	1	2	0	3
女	0	0	0	0
計	1	2	0	3

区分	2	3	4	5	6	計	平均 区分4
性別							
男	0	0	3	0	0	3	
女	0	0	0	0	0	0	
計	0	0	3	0	0	3	

5 入退所状況

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
入所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
在籍人員	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3

## II 実施事業

1 共同生活援助事業

利用者支援

ア サービス管理責任者を中心とした個別支援計画の作成、及び個別支援計画に基づく支援を行った。

イ 利用者に寄り添った意思決定の支援を行った。

ウ 余暇支援を中心とし発展的な活動支援を行った。

エ 各関係機関との連携を通し、ネットワークの構築及び維持に努め支援体制の確立を行った。

#### 地域社会との共生

ア 相談支援事業や市町村等の地域の社会資源との連携を図った。

イ 地域の自治会活動に積極的に参加した。

ウ ボランティア及び見学者の受け入れを積極的に行った。

### Ⅲ 権利擁護の推進及び個人情報の適正な取り扱い

#### 1 人権尊重

法人の「倫理綱領」及び「職員行動規範」を遵守し、権利擁護意識の保持を図った。

#### 2 虐待防止に向けた取り組み

法人の「虐待防止対応規程」に則り、利用者への身体的、精神的および経済的虐待の防止に努めた。

#### 3 個人情報の保護

法人の「個人情報取扱規程」に則り、これを遵守し、個人情報の保護及び漏えい防止に努め、個人の人格的利益の保護を図った。

### Ⅳ 運営管理

#### 1 職員健康管理

職員は、健康管理を目的として年2回健康診断を実施した。

#### 2 職員研修

職員の支援・援助スキルの向上、充実を図るため、法人施設における職員会議、ケース会議等に参画し、支援計画内容や実践報告において意見交換を積極的に行う。また、各種研修会にも積極的に参加し、専門技術の更なる向上を図った。

#### 3 災害防止・危機管理

(1) 消防法改正に伴うスプリンクラーの設置及び火災報知機設置。

(2) 消防設備の点検及び維持を行った。

(3) 夜間緊急時の対応方法の検討と実施した。

(4) 消防訓練・夜間想定を含む避難訓練・通報訓練の実施した。

(5) 地域との防災対応に関する連携を図った。

#### 4 その他

地域や法人内他事業との連携を踏まえ、共同生活援助事業の在り方に関する検討を行った。